

平成25年度5月例会・第1回通常総会・委員長所信表明 平成25年5月27日(月)／倉敷商工会議所

情報活性化委員会



委員長／斉藤 浩章

情報活性化委員会では「情報収集」「情報管理」「情報発信」をテーマに、あふれる情報をどのようにYEGメンバーに有効に発信できるかを基本に運営していきます。内容としては、1.青年部ホームページの改良2.メーリングリスト運用の検討3.藤花の今後についての検討この3つの項目を中心に考えていきます。ホームページにおいては、まず会員からの意見を広く集めるためにアンケート等を実施し、どのように改良するのが望ましいかを専門家の意見を交えながら検討したいと考えます。メーリングリストにおいては、現在多くのメールが流れておりますが、ひとり一人の会員にとって本当に必要な情報なのかを改めて考えるところから取りかかっていたいと考えています。藤花においては、青年部を卒業された先輩方から引き継がれている歴史ある広報紙ですが、今やその役割を終えたのではないかと問われるようになっており、今後の存続について慎重に検討を重ねていきたいと考えております。

以上のことを主に委員会では行っていきたくております。今までにみんなで作ってきたものを変えていくことは多少抵抗がありますが、会長所信にもある「創造的発展」に向けて新しく、今まで以上に結束力のある青年部をつくる、要となる委員会にしたいと思っております。また同時に、めまぐるしく変わるハードとソフトの両面でもビジネスに役立つIT活用方法などの勉強会を実施していきたいと思っております。ご期待ください。

研修委員会



委員長／宮原 雄一

研修委員会では、新入会員の最初の所属する研修の場所となり、YEGの使命、役割を認識し、必要な技術を身につける活動を行います。また、組織構築に重要な会員拡大を広報活動や、各会員を通じての募集活動を行う委員会でもあります。私自身、今までのYEG活動を通じて、講演会の企画・運営、大勢の方の前での登壇の機会をいただき、様々な経験をさせていただきました。その中で感じたことが、会長、所属先の委員長はじめ、関わった方々の努力によって作られてきた場所であることに気付かされました。委員長の立場となり、今度は自分が率先して、委員会メンバー、新入会員の方々に多くの経験ができる場所を作り出すことが、委員長にとって大きな役割だと考えます。青年経済人として、取引業者様、スタッフ、そして関りあった方々との信頼関係を築くことが大切だと考えております。委員会活動にある研修や様々なYEG事業を通じて、共に汗をかき、YEGならではの異業種交流や幅広い年齢の方々と交流をもてる場を持ち、各メンバーとの絆、友情の構築を大切にしていきたいと思っております。

そして、25年度の基本方針でもある「創造的発展」を肝に銘じ、創造力、企画力を共に養い、例会やYEG事業の場で、委員会内で培った「研修」の力を発揮できる委員会を目指します。

大会・スポーツ活性化委員会



委員長／松尾 茂瑞

大会・スポーツ活性化委員会は、その名の通り、①県連大会や中国ブロック大会、全国大会参加に伴う諸準備等と②7月のスポーツ例会の主催や各種レクリエーションを主な事業内容とする委員会です。上記の中でも、とりわけ7月のスポーツ例会は、今までの例会の慣例を破り、例会の中でスポーツ活動を行い、会員相互の人的繋がりを強めていくという創造的な試みとなります。委員会として知恵を絞り、工夫し、より楽しくそして、より親睦の深まるような例会としていく所存です。当委員会の事業概要は上記の通りですが、我々の活動の根幹は「会員相互の親睦」です。仲の良い人がいない例会に行きたい人は少ないでしょう。

当委員会が中心となり、会員同士の親睦を図り、倉敷YEGの活性化、ひいては例会の出席率向上につなげたいと思っております。そのための基本として、楽しく活気のある委員会運営に努めていきます。

総務委員会



委員長／斉藤 一朗

今日の厳しい経済環境の中、まずは各自がしっかりと本業を固めることが地域貢献の基であると思います。そのうえで個人のスキルアップ、人的ネットワーク構築などの場としての青年部活動が、よりスムーズに、効率よく行えるよう裏方的役割を担って参ります。総務委員会の具体的な活動として、会員手帳の作成、役員会・総会に伴う資料の作成、青年部規則内容の検討、三倉市未来会議の設置を行いますが、その他にも実際の活動の中で生じる庶務について関わっていくこととなります。そして、各委員会がそれぞれの活動を行いつつも、例会を中心とした「ひとつ」の「まとまり」ある倉敷商工会議所青年部の実現に向け、お互いに協力して行くためのパイプ役の委員会となればと考えておりますので、この一年、皆様のお力添えよろしくお願い申し上げます。

交流委員会



委員長／中山 隼行

はじめに、今年度で17年目を迎える歴史ある倉敷商工会議所青年部の、委員長という役職に私を選んでいただいたことに感謝し、またその期待に応えるよう務めさせていただきます。17年間の歴史の中で先輩方が創り上げられてきた「地域、行政、市民との交流」は脈々と受け継がれてきました。我々がその倉敷YEGの交流活動への想いを継承しつつ、倉敷YEGの顔となるべく、日々新しい出会いを創造し、絆を未来に繋ぐことは大きな意義があります。そして、さらなる「地域、行政、市民との交流」を目指すうえで、岡山・総社・倉敷の3YEG事業、玉島・児島・倉敷の3YEG事業、新見・高梁・総社・玉島・倉敷の高梁川流域交流事業、さらには、次代を担う若者たちの大学交流事業等を重要だと考えることがあります。経済人として、ひとと人のコミュニケーションを大切に、責任意識を感じながら自分の足で歩く、といった従来経済人が歩んできた歴史や文化を全ての方が大切にすることが「地域貢献の出来る青年経済人」の実現には欠かせない事ではないでしょうか。歴史を重んじ新たな価値を見つけることこそが、未来への礎となるのではないかと考えます。まさしく、元気に、勢いよく、威勢のいい青年経済人を目指すべく、意気軒昂で取り組んでいきたいと思っております。本年度の交流委員会ではいつまでも変わらない、人が持っている良い部分を大切に、新しい変化を重ねていくものを取り入れ、明るい豊かな未来をつくるための礎となる活動を行いたいと思っております。最後になりますが、交流委員会メンバー全員で未来に繋がる事業や例会を行うため事前にしっかりと計画し、円滑な委員会運営を行い創造力と情熱を持って倉敷YEGの発展に繋がっていきます。

まちづくり委員会



委員長／安藤 順浩

当委員会の活動内容は、矢野会長が掲げる「創造的発展！」のスローガンのもと「YEGブース」「企業等視察企画」「クリーン作戦」「天領祭り」「賀詞交歓会」を担当します。特にその事業の中でも「YEGブース」「企業等視察企画」に力を入れていきたいと思っております。「YEGブース」では、倉敷の文化や企業の魅力を引き出し、YEG会員企業の情報を発信するような企画や三倉市への更なる集客が見込めるような企画が出来ればと思っています。「企業等視察企画」では、切り口を「どのように顧客をつくりだすのか」「それを継続しているのか」といったように先に決めて話を聞くことで、自社の顧客創造に落とし込めるような企画を考え、青年経済人としての自己研鑽に励みたいと思っております。「まちづくり」という多様な切り口がある委員会だと思っておりますが、明確なビジョンを持って行動できるリーダーが多いほど、街や企業の発展に繋がるのではないかと考えます。委員会全員で事業に取り組み倉敷の「まちづくり」の一助となり、メンバー全員で感動を分かち合えるような事業活動が出来ればと思っております。精一杯頑張りますので、皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

ベッキオバンビーノ 平成25年4月7日(日)／美観地区地内

4月7日(日)に美観地区にて東日本震災で被災された皆様に対する復興支援と交通遺児支援を目的としたチャリティー活動として昨年発足したイベント「ベッキオバンビーノ」の警備をお手伝いさせていただきました。今回、警備員のボランティアに総勢31名ものYEGメンバーに足を運んでもらいました。当初は心配された天気ですが、当日は雨も降らず後半には青空が見えるほどで、とても気持ちの良い気候でした。スーパーカーブームを経験した自分としてはフェラーリ、マスタングやランボルギーニなどの名車が警備する自分たちのすぐ側を走っていくのを見ながら興奮が隠せませんでした。



イベントも大きな問題もなく無事終了でき、メンバーの笑顔が見れほっとしました。

